

令和6年11月15日到着分 新着本(児童書)

貸出中の資料は予約を受付けております。
カウンターの係員にお申し出下さい。

書名	著者名	出版社	分類	備考
1 あかいとり	いもとようこ	ひかりのくに	えほん	
男の子に捕まえられた美しい声の赤い鳥を助けたありさちゃん。鳥の噂は王様の耳にも入り、「聞いてみたい」と言います。家来たちは体の弱い王様のためにありさちゃんの家に出向き、鳥をお城に連れてきてほしいと頼みますが…。				
2 なんのサンドイッチ?	たなかひかる	大和書房	えほん	
2枚重ねてあるパン。上のパンから、白いものが2本ずついくつも飛び出して、カリカリコリコリという音がするよ。これ、なんのサンドイッチ? サンドイッチの中には意外なものが挟まっていて…。めくる度に驚きが溢れる絵本。				
3 ムーミントロール スナフキンとぼうけん!	トーベ・ヤンソンほか	徳間書店	えほん	
春、スナフキンがムーミン谷へ帰ってきました。ムーミントロールは、スナフキンのはなしを聞くと、自分もぼうけんに行きたくなりました。そこでふたりは、船に乗って海に出て…。親子で楽しめるムーミン谷の絵本。				
4 ねえねえ、なにを見てる?	ビクター・ベルモント	河出書房新社	えほん	
科学者のママ、ゲーム好きのパパ、音楽家のおじさん…。同じ場にも、見ているもの、その見え方は全く違う!? 食卓を囲む家族の異なる世界を鮮やかに描く、多様性と共感について知る絵本。				
5 もりのはなやさん	ふくざわゆみこ	Gakken	えほん	
おおかみさんは、花のことばがわかる森の花屋さん。毎日花たちと、みんなに笑顔を届けたいねと話しています。配達先でうさぎさんがケガしているのを知ったおおかみさんとチューリップは…。「もりのえほん」シリーズ第4弾。				
6 なんのくるまにのるのかな?	小輪瀬 護安	福音館書店	えほん	
警察官は、パトロールカーに乗って、毎日町を見回ります。消防士さんは、消防車に乗って、火事の現場へ急行します。運転士さんは…。働く人たちが、どんな車に乗って仕事をするかを紹介します。				
7 できあがり	彦坂 有紀	福音館書店	えほん	
ぎゅっぎゅっにとぎったごはんがあります。海苔を巻いたら…はい、おにぎりのできあがり! ページをめくると、子どもたちが大好きな食べものができあがる、美しい木版画で描いた絵本。				
8 ネットはなぜいつも揉めているのか	津田 正太郎	筑摩書房	そうき	
日々起きる事件や出来事、問題発言をめぐる、ネットユーザーは毎日のように言い争っている。「炎上」を経験したメディア社会論者が、終わりのない諍いを生み出す社会やメディアのあり方を考える。				
9 沖縄について私たちが知っておきたいこと	高橋 哲哉	筑摩書房	れきし	
沖縄になぜ基地が集中しているのか。基地問題を理解し、その解消を目指すために、沖縄が日本に併合された経緯や、その後何度も本土の犠牲になった歴史を明らかにする。知念ウシとの対談も収録。				
10 名字の事典		大月書店	れきし	
名字にまつわる様々な情報を紹介。都道府県別の名字トップ50ランキングと地域ごとの名字の特色、メジャーな名字とマイナーな名字の起源、名字のルーツの調べ方などを解説する。				
11 税という社会の仕組み	諸富 徹	筑摩書房	しゃかい	
なぜ税を納めたくないのだろうか? 税は用途を選択し、払うことができるもの。税制の歴史、問題点や展望を見つめ、民主主義を実現するための税という仕組みを考える。				
12 ジンベエザメのひみつ	池田 菜津美	新日本出版社	しぜん	
魚の中でいちばん体が大きいジンベエザメ。水族館にいるジンベエザメの体や生活について写真やイラストで紹介。飼育員さんだけが知っているジンベエザメのひみつも満載。「ジンベエザメと飼育員さんの1日」付き。				
13 SDGsから考える世界の食料問題	小沼 廣幸	岩波書店	さんぎょう	
農業や畜産を専門とし、国連食糧農業機関の一員として開発途上国で活動してきた著者が、食料問題について、自身の経験をもとにSDGsとあわせて解説。退官後に手掛けたタイの山岳民族に対する支援事業などにも言及する。				
14 ドングリのたんけん	おくやまひさし	少年写真新聞社	さんぎょう	
色々な不思議がかくれているドングリ。日本で見つかる主なドングリの種類、コナラやクヌギのドングリがみのるまでの観察、ドングリの育て方・工作・おいしい食べ方などを、絵と写真で紹介します。				
15 キャンプへいこう	ごとうひでゆき	スタジオタッククリエイティブ	げいじゅつ	
パパと一緒に、はじめてキャンプに行くことになった男の子。キャンプ道具や、タープやテントの設営方法、たき火の仕方、ご飯の炊き方、そして四季折々の自然の魅力などを、パパがやさしく教えます。				
16 小学生のための「茶道」「華道」		メイユニバーサルコンテンツ	げいじゅつ	
思いやりの心や豊かな感性を育む「和」のおけいこ、「茶道」「華道」。はじめて茶道や華道を習う小学生に向けて、きほんや歴史、所作などをわかりやすく指南する。				
17 まねをしました	すずきみえ	文研出版	ぶんがく	
図工の時間、遠足で行った水族館の絵を描くことになった。描くものを決められないゆうまは、ハルトがサメの絵を描いているのを見た。「ハルトくんのサメ、かっこいい!」と思ったゆうまは、ハルトのまねをしてサメを描くが…。				
18 となりのじいちゃんかんさつにつき	ななもりさちこ	理論社	ぶんがく	
小学校の夏休みの宿題の定番「あさがおのかんさつにつき」。うっかり枯らしてしまった、ようたは、こっそりとなりの家のあさがおを観察することに。すると、そこに一人で住んでいる、じいちゃんの様子がなんだかあやしくて…。				
19 それでも私が、ホスピスナースを続ける理由	ラプレツィオーサ伸子	Gakken	ぶんがく	
ホスピスとはもう治癒の見込みがない病人に行われる「終末期医療」、そしてその仕事に従事するのがホスピスナース。死の旅に出る人々とその家族の姿を描く、著者が体験した実話をもとにした連作短編集。				
20 6days遭難者たち	安田 夏菜	講談社	ぶんがく	
女子高生3人は各々の理由から、ともに山に登り始める。日帰りできる「ゆる登山」のつもりだったが、下山の計画を変更したことで道を見失い…。生と死の狭間で、3人がつかんだものとは? 「遭難を防ぐための五か条」も掲載。				
21 いいわけはつづくよどこまでも	岡田 淳	偕成社	ぶんがく	
ぼくのおじいちゃんはずごい。奇想天外な遅刻のいいわけや、セールスマンをしていた頃、とある王様を助けたことなど、びっくりする話をたくさんしてくれて…。6話を収録。『神戸新聞』等掲載に書き下ろしを加えて書籍化。				

令和6年11月15日到着分 新着本(児童書)

貸出中の資料は予約を受付けております。
カウンターの係員にお申し出下さい。

	書名	著者名	出版社	分類	備考
22	資料室の日曜日	村上 しいこ	講談社	ぶんがく	
	ここは、せんねん町の、まんねん小学校の資料室。ある時、鹿のはく製が、歯を1本、落としてしまいました。資料室のみんなで探しに出かけると、いなくなったひこぼしを探しにきたおりひめと出会い…。日曜日シリーズ。				
23	まほうのマーマレード	茂市 久美子	あかね書房	ぶんがく	
	働いていたジャムの店がつぶれた悠一は、空き家になっていた田舎のおばあさんの家で暮らすことに。おばあさんの「まほうのマーマレード」のレシピを見つけ、「まほう」を待つ人たちのためにマーマレードやジャムを作り始め…。				
24	妖怪の子、育てます 3	廣嶋 玲子	東京創元社	ぶんがく	
	江戸の片隅で養い子の千吉と暮らす青年弥助は、実は妖怪の子預かり屋。石地蔵そっくりの妖怪が子どもたちを預けにきたが、その三兄弟は喧嘩ばかりで…。「仲の悪い三兄弟」など、妖怪たちの不思議な日常を描いた9編を収録。				
25	妖怪の子、育てます 4	廣嶋 玲子	東京創元社	ぶんがく	
	江戸の片隅で養い子の千吉と暮らす青年弥助は、実は妖怪の子預かり屋。千吉の幼なじみで双子の姉妹、天音と銀音の目の前で、父親の久蔵に抱きつく女の子が! いったい誰!? お江戸妖怪ファンタジー。				